

ホットニュース

鹿児島県立図書館「宝本エピソード展」の御案内

県民から募集した「おやこ一冊読書」の「宝本エピソード」や学校における取組を紹介し、「おやこ一冊読書」の一層の普及を図ることを目的として「宝本エピソード展」を開催します。

1 期間

平成28年12月6日(火)～平成29年1月20日(金)

2 場所

鹿児島県立図書館玄関ホール

3 内容

- (1) 親子や家族等で大好きな本になるまでのエピソード、親子や家族以外の友人・知人・恩師等との思い出の本についてのエピソード及び自分にとって大切な一冊のエピソードの紹介。
- (2) 各団体における「おやこ一冊読書」の取組の紹介文や写真、「おやこ一冊読書」に取り組んだ児童生徒や保護者の感想などの紹介。
- (3) おやこ一冊読書の概要の紹介。

4 その他

- (1) 掲示板に掲示するエピソードに合わせて、エピソードで紹介された本も展示します。
- (2) 個人のエピソードは、前期[12/6(火)～12/27(火)]と後期[12/28(水)～1/20(金)]に分けて展示します。

<宝本とは>

鹿児島県立図書館では、絆を深め、感動を味わい、自分を見つめる大切な一冊を「宝本」と呼んでいます。



【昨年度の宝本エピソード展の様子】

図書館で探そう、調べよう!

鹿児島の方言について調べたいときは、『鹿児島方言大辞典』（上下、橋口満/著、高城書房）をおすすめします。収録語が多く、県内各地において独自の特徴をもつ「かごしま弁」を調べることができます。日頃使用していても、聞き慣れない言葉もあるので、まずはこの辞典で調べています。調査相談の回答をする場合、できるだけ複数冊の図書を御案内しています。方言についても、北薩や南薩、また大隅地方など各地域別に調べる図書がありますので、比較してみるのもよいでしょう。

また、方言についてより詳しく知りたい方は、「方言ライブラリー」も御活用ください。県内各地域の方言をCD、カセットテープに収録したものと対訳本を保管しています。2階カウンターで申込書を記入し手続きしていただければ、無料で利用できます。

研究者の方々だけでなく一般の利用者の方にも好評で利用していただいております。

新着図書案内

《一般書》12月21日(水)

- 『狂うひと』 梯久美子/著 新潮社
- 『賢女の極意』 林真理子/著 文藝春秋
- 『さよなら妖精』 米澤穂信/著 東京創元社
- 『夜行』 森見登美彦/著 小学館
- 『現実宿り』 坂口恭平/著 河出書房新社

《児童書》12月23日(金)

- 『あかいけいと』 佐々木マキ/作 偕成社
- 『Oを口に!』 宮下すすか/作 市居みか/絵 くもん出版
- 『季節のことば』 中村和弘/監修 岩崎書店
- 『墓守りのレオ』 石川宏千花/著 小学館
- 『国ってなんだろう?』 早尾貴紀/著 平凡社

催し物の御案内

1 10冊貸出の実施

利用者カード1枚につき通常、一般閲覧室、児童文化室いずれも各5冊までの貸出を10冊に拡大して実施しています。

期間 12月8日(木)～12月28日(水)

2 一般閲覧室ミニ展示 12月1日(木)～12月28日(水)

「ノーベル賞を読む」

ノーベル賞受賞者に関する本、ノーベル賞を知ることができる本を紹介しています。



3 児童文化室ミニ展示 12月23日(金)～1月22日(日)

「えとのどうぶつ、みんなあつまれ～！」

干支の動物たちが出てくる本を紹介します。



図書館職員のつぶやき

11月10日(木)から、30日(水)まで、蔵書点検のため休館していました。この期間に、全ての所蔵本があるか確認をすることはもちろんですが、書棚を整理したり、書庫等の清掃を行ったりしました。この作業期間中、たくさんの年代物の資料に触れることができました。百年近く前の資料をみると、歴史の重みを感じます。また、新聞の整理をしていると、自分の生まれた年にはどのような記事があったのだろうかと感じます。図書館は、本当に資料の宝庫だと感じた期間でもありました。

この期間中、利用者の方々の使いやすさを考えて、作業に取り組みました。

今後も、皆様にとって利用しやすい図書館になるよう努めて参りたいと思います。

県立図書館に届いた 『宝本エピソード』

今回紹介していただいた宝本は、洪 在徹(ホン、ジュチョル)/文、鄭 俊圭(ジョン、ジュンギョ)/絵の『極寒のサバイバル』(朝日新聞出版)です。

ぼくが小学校の図書室でよく借りる本が、このサバイバルシリーズの本です。海や山、砂漠や火山などのいろいろな場所で、ピンチを乗り越える方法など、漫画で面白おかしく、分かりやすく書いてあります。何度も同じ本を借りていたら、お父さんに買ってもらいました。それが、この極寒のサバイバルでした。好きな本が近くにあると、それだけで心がわくわくして、嬉しくなります。だから、この本がぼくにとっての「宝本」です。



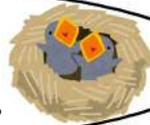
図書館クイズ

『ハリーのセーター』(ジーン・ジオン/ぶん、マーガレット・ブロイ・グレアム/え、わたなべしげお/やく)からのクイズです。

ハリーのセーターは、いとがほどけたままとりにもっていかれてしまいます。そのあと、セーターはなにかにかたちをかえて、きのうえでみつかります。なにかかわったのでしょうか。

ヒント*

鳥がつくるものです。



答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、1月14日(土)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「いぬ」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 12月 | 11 | 12 | 13 | 14★ | 15 | 16 | 17◆ |
| | 18 | 19 | 20 | 21◇ | 22 | 23□ | 24 |
| | 25 | 26 | 27 | 28 | 29△ | 30 | 31 |
| 1月 | 1 | 2 | 3△ | 4★ | 5 | 6 | 7 |
| | 8 | 9 | 10 | 11★ | 12 | 13◇ | 14 |
| | 15 | 16 | 17 | 18★ | 19 | 20 | 21◆ |

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(白抜)：9時～17時

■ は、休館日。

△ は、学習室と一般閲覧室の新聞・雑誌コーナーのみ開室(9時～17時)。

★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)。

◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)。

◇ は、一般閲覧室新着図書の日(12月21日, 1月13日【予定】)。

□ は、児童文化室新着図書の日(12月23日)。